

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年9月10日 (火)

NO. 994号

本号3頁

日ロ領土問題「全く進展なし」 安倍外交深刻な傷痕

安倍首相はロシアのプーチン大統領との会談が5日、ウラジオストクでの東方経済フォーラムで行われました。しかし、日ロ領土問題についての進展は全く得られませんでした。

安倍首相は東方経済フォーラムでのスピーチで「ウラジーミル。君と僕は同じ未来を見ている」「ゴールまで、ウラジーミル、2人の力で、駆けて、駆け、駆け抜けよう」などと手放しでプーチン氏への「信頼」を示しました。一方のプーチン氏は、同日未明に色丹島に新設された水産加工場の稼働式に中継映像で参加しました。8月にはロシアのメドベージェフ首相が択捉島を訪問するなど、ロシア側は「主権」をアピールする一方的行動を続けています。

安倍首相は今回を含め27回もの会談をしてきたと自慢しますが、領土問題は「進展しなかった」では済まない深刻な傷痕を残しています。安倍外交は失敗の連続、安倍さんに外交は任せられません。



水産加工場

ちょうど1年前の東方経済フォーラム (昨年9月12日) に参加したとき安倍首相は、プーチン大統領が目の前で「年末までに前提条件なしで (日ロ) 平和条約を結ぼう」と発言したのに対し、何の反論もできませんでした。このことに対し「重大な外交的失態」との批判が湧き起こりました。

平和条約締結は、公式の国境画定という意義を持ちます。「前提条件なし」での平和条約締結は、千島列島及び歯舞・色丹に対し主権を主張しているロシアに対する「領土要求」の放棄となります。

また2018年11月のシンガポールでの会談では、「日ソ共同宣言を基礎に平和条約締結交渉を加速させることで一致した」としました。

その1956年の日ソ共同宣言は、平和条約締結後に、北海道の一部である歯舞、色丹の引き渡し (譲渡) を行うとするものでしたが、「2島返還で決着」とするソ連 (当時) 側との解釈の違いを含んでいました。

「日ソ共同宣言を基礎」に平和条約締結という基本方針は、歯舞・色丹に国後・択捉 (南千島) を加えた4島返還という歴代自民党政府の主張も自己否定し、2島返還で決着というロシア側の主張への全面屈服となるものでした。安倍首相は、歴代政府の立場さえ投げ捨て、プーチン大統領との「信頼関係」に頼って、「部分的な外交成果」をあげることで政権浮揚を図るという浅はかな思惑でことに臨み、いっそう混迷を深めたと言えます。

下村氏 立憲支持者を前に「9条自衛隊明記も生活変わらず」と?

自民党の下村憲法改正推進本部長は7日、立憲民主党の一部の支持者らが主催した憲法問題を議論する会合で講師を務め、自民党が示す自衛隊を憲法9条に明記する案について、市民生活には「直接関係ない」と強調しました。

参加者の中からの「憲法9条に自衛隊を明記しても変わらないと言い切れるのか?」との質問に、「そうですね。自衛隊の任務とか職能的な分野が広がるのではなくて、あくまで位置づけるだけの話。生活とは全く直接関係がある話じゃない」と、全くいい加減な応えをしています。さらに、9条への自衛隊明記については、「違憲論を解消するため」と強調しました。

憲法改正をめぐるのは、議論を進めたい自民党と、改憲の賛否を問う国民投票のCM規制の国会審議を優先すべきとする主な野党との間で溝がありますが、下村氏は「強行採決できるようなことではない」と述べ、論議の加速を促しました。

山尾志桜里議員「自由討議をやったらいい」

また、出席していた山尾志桜里議員は「自由討議をやったらいい。委員が党に縛られず、自由討議できることを議長に確認してもらおうようなことをしたら、もって面白い議論になるのではないか」と発言しました。

もともと「個別的自衛権に限定して自衛権を行使できると明記する」と「立憲的改憲論」を主張する山尾志桜里ですが、憲法審査会で自由討議の場を設けて、自民党の改憲案を提示させて議論するとの考えでしょうか。相手の土俵でまともな議論ができると思っているのでしょうか？

鳥取県憲法会議通信への投稿

All meat pleases not all mouths (人を見て法を説け)

一人ふやしの一助として一

鳥取県憲法会議 世話人・広沢茂子

今は昔というときか大袈裟に過ぎるが、かなり以前のことである。講演会等で用いるスローガンペーパーを切らしてしまったので、友人の息子さんの伝手で、ある会社の工場を訪ねた。数種類の中から気に入った二本を選んでレジへ。担当の女性が言った。「領収証の宛名は何様と書きましょうか」「米子九条の会として下さい」と私。

帰宅してそれを開いてみるや、「エーッ？」思わず発した私のすつとんきょうな大声に、すぐ傍らで寛いでいた夫が振り向いた、何かとばかりに。何と、そこには「米子球場の会」とあるではないか。顔を見合わせ、笑ってしまった。

が、一瞬置いて思った。待てよ、これは笑い事なんかじゃないぞ。おそらく彼女が特に意識が低いわけではないだろう。ちゃんとした会社で日々真面目に働いているのだ。言わば平均的な米子市民といったところ。その彼女にしてこの体である。他は推して知るべし。

この件と関連して思い出すことがある。

時を同じくして『月刊憲法運動』に載っていた若手弁護士・早田由布子さんの文章である。その一部を紹介しよう。

一憲法運動をするにあたり、私たちはまず、九条の会をはじめとする民主的な団体にかかわりを持っている「市民運動の担い手」たる市民(A)と、労働組合に入ったこともない、デモをしたこともない、憲法の集会をやっても来ない、宇都宮健児弁護士の言葉によると、「市民運動の一回りも二回りも背後にいる市民(B)」では、憲法に対する感覚、人権に対する感覚にかなり違いがあるのだということを認識する必要があると思います。—*(A)、(B)は広沢による付記

宜なるかなと思った。

いつしか時は流れ、今、私たちの運動も遅々たる歩みながら着実に前進しつつある。が、どの分野、どの団体でも、志を同じくする仲間を如何にして増やすかが当面の大きな課題となっている。特に高齢者が安心して暮らせる社会を目指し奮闘している年金者組合では、増やさなければ確実に減る(毎年鬼籍に入る人、数名)という、言わば宿命とでも言うべき厳しい現実を抱え、事は深刻である。人ふやし作戦については、おそらくどの領域でもカンカンガクガクの議論がなされているはいるだろうが、前述の早田さんの文中にあるA、B両者間の憲法や人権に対する感覚の違いを認識してかかるというのは、この運動の推進に力を尽くしているすべての人に共通して有効な姿勢、手だてといえるのではなかろうか。正鵠を射た指摘である。

各地のとくくみ

三重・津市 「アベ政治を許さない」宣伝「9条を変えてはダメ」

津市で3日、「憲法を守り生かすみんなの会・津」と「憲法共同センター・みえ」が呼びかけて、「アベ政治を許さない」宣伝が取り组まれました。6人が参加し、3000万人署名をよびかけました。

「みんなの会」の庄司光子さん、日本共産党の岡野恵美前県議、豊田光治前津市議らが、マイクで、憲法9条の改悪を狙い、消費税を10月から増税し、さらに国会を開かない安倍政治を批判しました。参院選で改憲勢力が3分の2を下回ったことや自民党が議席を減らしたことを紹介し、次の総選挙では市民と野党の共闘で安倍政権を退陣に追い込もうと訴えました。

署名した40代の女性は、「憲法を変えることには反対」。64歳の女性は「9条をかえてはダメ。9条で平和を守って来た。これからも平和を守ってほしい」と語りました。

長野・上田 スタンディングに車の窓を全開して「頑張ってください」と

長野県上田市で3日、真田9条の会が今月も「アベ政治を許さない」宣伝を実施しました。場所は上田市街地から菅平高原に向かう道路沿い。メッセージボードを手に12人がスタンディングアピール。車が交差点を曲がる際、助手席を全開して「応援しています。頑張ってください」と、女性が大きな声で声援を送りました。今まで、車から手を握るなどの反応はありましたが、「こんなの、初めて」と参加者はびっくり。

「あんまり暑くて、8月は休もうと思ったけど、私みたいな年寄りに、木陰に椅子を準備してもらったので」と高齢の女性。別の女性は「憲法を守るなんて、当たり前のことでしょ」と、安倍改憲への怒りを語りました。中沢盛雄さんは「この場所に立っていると『先日、立っていましたね』と話題になる。アピールは伝わっている」と語りました。参加者は、安倍改憲を断念させるまで「こっちが行動をやめるわけにはいかない」と、それぞれの思いを語りました。

毎月のニュースには、前月のスタンディング写真を載せて発行。先月で52号となりました。

長崎 「長崎市パートナーシップ宣誓制度」を開始 「これがゴールでなくスタート」

長崎市は2日から、性的少数者（LGBT/S001）のカップルを公的に認める「長崎市パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。

県内自治体では初めてです。法的な拘束力はありませんが、家族として市営住宅への申し込みや、パートナーの子どもを共に養育する場合に、保育所への入所申込などが可能になりました。

市は市民向けと事業者向けのガイドブックを計8000部作成し、配布。8月末には市職員への研修も行いました。

性的少数者への支援や啓発などに取り組む同市の交流団体「Take it i 虹（にいじい）」の代表で、自身もパンセクシャル（好きな人の性別にこだわらない）を公表している儀間由里香さん（30）は、制度を希望する当事者の声に応え、人権を守るために市が行動してくれたことはとても嬉しい」と述べました。その上で「これがゴールでなくスタート。市職員や現場で対応する担当者の制度への理解をすすめることや社会への啓発活動も重要です。このような努力が広がっていけば、多様性を認め合う街づくりの礎になると思います」と話しました。

石川 今月も元気に、安倍政権の退陣を求める「怒りの昼デモ」

石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかず共同センターは4日、金沢市のいしかわ四高記念公園から繁華街に向けて、安倍政権の退陣を求める「怒りの昼デモ」を行いました。今回は約40人が参加しました。

出発前のあいさつを国民救援会県本部の田畑吉廣事務局長が行いました。

デモ行進は、「平和憲法を守ろう」と書いた横断幕を先頭に「安倍9条改憲NO!」「戦争させない」と書いたパネルやのぼりを掲げ、「共謀罪は廃止せよ」「安倍政権は退陣せよ」とコールしてアピールしました。海外からの観光客や通行人の注目を集めていました。



毎月行われている昼デモ

憲法講座のDVDが

6日に完成！

「安倍改憲とのたたかいの力をもらった」「草の根からの改憲阻止に向けたたたかいの重要性がわかった」等と、大好評の憲法講座。是非とも、仲間や友達とDVDで学習しましょう！

○100枚 1000円

○送料 180円

